

患者・家族支援センター News Letter

VOL.1

患者・家族支援センター周知に関するワーキングチーム

G

ブロック

がん相談
支援センター

緩和ケア
センター

栄養
相談室

医薬品
情報室

患者サロン

アピアランス
ケアルーム

図書室

我が国では、「がん」にかかる人は、男女ともに年々増加し続け、罹患者数は100万人を突破し、日本人の二人に一人が、生涯で何らかのがんにかかる時代となりました。

医療の進歩により、罹患後の5年生存率も年々上昇し、平均余命も確実に伸びています。しかし、たとえ医学が進歩し、寿命が延びても、がんと告知



を受けた患者さんご家族には、他人には言えない様々な不安が去来する事実は、未だに変わっていないように思います。



患者さんは、個々それぞれ、個別のがんと向き合い、治療だけでなく、就労や生活、社会との関わり等について、自分自身で意思決定を行っていかねばなりません。

患者・家族支援センターは、個々の患者さんの ニーズに対応すべく、医師、看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士など多職種によって構成され、がん患者さんご家族の生活を支えるための部門が連携して、「がんになっても安心して暮らせるまちづくり」を目指した活動を行っています。

副院長 古川 正幸

今後は下記の内容で情報発信を予定しています！

第2号 がん相談支援センター

第3号 緩和ケアセンター

第4号 がん患者の栄養

第5号 がん看護相談外来

第6号 がんのお薬について

第7号 九州がんセンターのアピアランスケア

第8号 患者図書室について

第9号 患者サロンについて

